

通常総会議事録

開催日時：2002年3月29日(金)

16：00～17：30

開催場所：茨城大学人文学部講義棟

議長：田原博人

議事に先立ち出席者数の確認がなされた。事前投票総数は287、委任状数は1、総会出席者数は182である。出席者のうちで事前投票をした25名については、事前投票を無効とした。従って有効出席者総数は445で、定足数（正会員総数1363人の5分の1＝273）を満たすことを確認した。次に署名人として福江 純氏、横沢正芳氏が選出された。続いて各賞の授与式が行われた。

- 天体発見賞：
天体発見賞選考委員会の選考及び評議員会における承認を経て、以下の6件5名に天体発見賞を授与した。
板垣公一氏：超新星2001bqおよび超新星2001gdの発見
長谷田勝美氏：新星さそり座V1178の発見
中村祐二氏：新星はくちょう座V2274の発見
多胡昭彦氏：新星はくちょう座V2275の発見
BATTeRSプロジェクト：彗星C/2001 W2 (BATTERS)の発見
- 天体発見功労賞：
天体発見賞選考委員会の選考及び評議員会における承認を経て、以下の1件1名に天体発見功労賞を授与した。
畑山和也氏：新星はくちょう座V2275の独立発見
- 天文功労賞：
今年度より新設された天文功労賞を、天体発見賞選考委員会の選考及び評議員会における承認を経て、以下の4件4名に授与した。
 - 長期的業績
成見博秋氏：変光星の目視測光25万天体
 - 短期的業績
薄 謙一氏：1998年ボン・ウイネッケ流星群の活動を検出
大島誠人氏：2001年のや座WZの増光を検出
村岡健治氏：P/2001 X3を11D/Tempel-Swiftと同定
- 研究奨励賞：
研究奨励賞選考委員会の選考及び評議員会における承認を経て、研究奨励賞を以下の1件1名に授与した。
児玉忠恭氏：銀河団の形成と進化についての研究
- 林忠四郎賞・欧文報告論文賞：
林忠四郎賞選考委員会の選考及び評議員会における承認を経て、1件1名に林忠四郎賞を、1件24名に欧文報告論文賞を授与した。
 - 林忠四郎賞
柴田一成氏：宇宙ジェット・フレアにおける基礎電磁流体機構の解明
 - 欧文報告論文賞
福井康雄氏、水野範和氏、山口玲子氏、水野 亮氏、大西利和氏、小川英夫氏、米倉寛則氏、河村晶子氏、立原研悟氏、肖 可成氏、山口伸行氏、原 淳氏、早川貴敬氏、加藤滋郎氏、阿部理平氏、齋藤弘雄氏、真野 悟氏、松永健一氏、峯 義浩氏、森口義明氏、青山紘子氏、浅山信一郎氏、吉川奈緒氏、Monika Rubio氏：First Results of a CO Survey of the Large Magellanic Cloud with NANTEN；Giant Molecular Clouds as Formation Sites of Populous Clusters (Publ. Astron. Soc. Japan, vol. 51, 1999, pp. 745-749)

【議事の経過および結果】

1. 郷田理事が資料に基づき2001年度事業報告を行った（第1号議案）。質疑応答の後賛否を問い、賛成多数で承認された。
2. 松原理事が資料に基づき2001年度収支決算報告を行った。引き続き小杉監事が監査報告を行った（第2号議案）。質疑応答の後賛否を問い、賛成多数で承認された。
3. その他
 - (1) 一般会計財政改革案を松原理事が説明した。質疑応答の結果会員から貴重な意見が示され、これらを今後理事会における同改革案の改良に役立てることとした。
 - (2) 総会の運営方法に関する提案を郷田理事が説明し、質疑応答を行った。
 - (3) 長谷川哲夫氏が、7月に東京で開催されるIAU Regional Meetingに関してのアナウンスを行った。
 - (4) 小暮智一氏がアジア地域の国々からIAU Regional Meetingに参加する研究者に旅費補助を行うための寄付の呼びかけを行った。

2002年4月15日

議長 田原博人 印

署名人 福江 純 印

署名人 横沢正芳 印